

「社会科」 授業のデザイン

授業日時	平成28年 1月 21日 (木)	5校時	1年5組
授業者	武田 孝彦	授業場所	1年5組教室
単元・題材名	第3章 中世の世界 1節 武士の台頭と鎌倉幕府 3, 武士の成長		
導入	<p>・「武士」と呼ばれる人たちを表すのに、他の言葉はないか。 ※「さむらい」、「もののふ」、「つわもの」を紹介。</p> <p>・「さむらい」とは、「さぶらふ」=側で仕えるという意味が語源であることから、もとは天皇や上皇、貴族の護衛などとして仕えていた武官で、身分的には低かったことを紹介する。</p> <p>課題1(基礎の課題)</p> <p>◎「一遍聖絵」(教科書P64)を見て、武士の生活の様子でわかることを資料から読み取り出し合う。予想される意見は、</p> <ul style="list-style-type: none">・馬、猿、犬、鷹などの動物がいる。馬は馬小屋で大切にされている。・家の中の様子は、板の間、奥に畳があり、壁がない。周りに塀、物見台があり、他者の侵入を防ぐしくみ。隣の境には、竹が植えられている。・男女で酒を飲んでいる。門番がいる。坊主が二人いる。一人は亭主と話しているなど。 <p>課題2(ジャンプの課題)</p> <p>◎「なぜ、竹が植えられているのだろうか。」考えよう。</p> <p>※ 答えがなかなか出そうになれば、「竹は通常よりも細い、しの竹というもので、何に利用したか考えよう。」と、ヒントを付け加える。</p> <ul style="list-style-type: none">・竹(しの竹)は、矢の材料として使用された。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none">・武士がどのように発生してきたのかについては不明な点が多くある。有力な農民が武装したもの、朝廷の武官が成長したのもその一つだと考えられる。ここでは、一枚の絵から当時の「武士の生活」を想像させたい。 <p>☆「学び合い」をどこでどう生かしていくか</p> <ul style="list-style-type: none">・歴史学習は、過去の資料から当時の出来事をいかにイメージできるかが大きなポイントだと思われる。特に当時描かれた絵は、視覚的に訴え、生徒の想像力を膨らす貴重な資料である。本時では、たった1枚の絵を読み取り、多様な意見が交わされることを期待したい。		